



七松小学校 学校だより

令和3年度
11月号

尼崎市立七松小学校
校長 江上佳宏

☆ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

心の教育の充実に向けて ～子どもの悩みを受け止める～

9月13日、文部科学省の問題行動・不登校調査で新型コロナウイルス感染が拡大した2020年度、全国の国公私立の小中学校で30日以上欠席した児童生徒は、19万人超で、前年度より約1万5千人増え、過去最多であることがわかりました。また、同年度の小中高校生の自殺は最多の415人（前年度比98人増）であると報告されました。人生これからという子どもたちが死を選ぶということは、大変心に重いもので、生きていれば何とかなることを伝え、何としても防がなければなりません。

私は、ある研修会で、講師から自分の心に手をあてなさいと言われたことがあります。何も考えずに、自分の胸に手をあてました。多くの受講者もそうしていたことを記憶しています。確かに心臓の上に手をあてていますが、はたして、人の心は胸にあるといえるのでしょうか。私が学んだことは、人の心は、なかなか見えにくいもの。たとえ親しい、血のつながっている親子であっても、我が子の心が見えにくい。だから、親は、子育てや我が子のことで悩み、相談窓口で電話をかけてくるのですと。

人の心を少しでもわかろうとするにはどうすればよいのか。その研修会の講師から学んだことは、100%心をわかることはできませんが、その人の言動をよく分析することです。簡単に整理すると、表情から喜怒哀楽がわかります。表情だけでなく、考えられる表情の背景、声の強弱、体調や身なり等の変化も参考になります。これらを総合的に整理分析して、おおよその人の心が推察できるといいます。

不登校やいじめ等の問題行動を未然に防止するため、教職員は、日頃から児童との信頼関係を築き、表面上の行動だけでなく、学級内の違和感や子どもが発するサイン、友達関係の変化等、ささいなことも決して見逃さないよう早期発見・早期対応を図る必要があります。ご家庭におきましても、「好ましい親子関係づくり」に努めていただき、お子様の変化に気づけるような心がけをお願いしたいと存じます。

感染防止の制限が段階的に緩和され、2学期以降は、学校行事等を通じ、子どもたちにとってどの子どもにも居場所と絆があり、自己肯定感を育む魅力ある学校・学級づくりに取り組んでまいります。

悩み相談窓口

いのちの電話

0570・783556

午前10時～午後10時

0120・783556

午後4時～午後9時

毎月10日は

午前8時～翌日午前8時

兵庫県いのちと心のサポートダイヤル

078・382・3566

月～金 午後6時～翌日午前
8時半

土日祝日は24時間

よりそいホットライン

0120・279338

24時間対応